

## 12億6,600万円の効果の内訳

実施計画内容	実施状況および効果など	実施年度	効果(千円)	
<b>事務事業の改革</b>				
事務事業の 簡素化・効率化	福祉新聞の購読中止	平成16年度	114	縮減
	北海道高齢者問題研究会からの脱会	平成16年度	180	縮減
	体育施設維持管理費などの抑制	平成16年度	3,182	縮減
	内部コストの見直し (ピンク電話、リースから購入に変更)	平成21年度	4	縮減
	自動車・暖房用燃料の契約単価の見直し	平成17年度	20,259	縮減
	用紙などのリサイクル徹底	平成16年度	6,232	縮減
	節電などの徹底	平成16年度	2,824	縮減
	職員の給与費抑制	平成15～21年度	686,267	縮減
	職員住宅使用料の見直し	平成17年度	3,457	歳入増
	投票区の見直し	平成20年度	264	縮減
	記念品、対象要件の見直し	平成18年度	2,219	縮減
事務事業の任務分担 (住民と行政の役割)	町営バス運行业務などの民間への委託	平成15年度	57,500	縮減
	道路維持補修作業の民間との業務分担の推進	平成16年度	9,688	縮減
	農業用水道異常水量調査の業務委託	平成21年度	220	縮減
	母と子の家の廃止 (地域町内会でコミュニティハウスを建設)	平成18年度	1,440	縮減
	町有スポーツ施設などの管理方法の検討	平成20年度	3,055	縮減
	常設保育園保育料の適正な設定(2年ごとに改定)	平成16・18・20年度	7,408	歳入増
	へき地保育所保育料の適正な設定 (常設保育園に合わせて改定)	平成16・18・20年度	1,070	歳入増
	広域的な事務事業の展開の検討 (滞納整理機構の加入)	平成19年度	30,292	歳入増
	町有施設および町有スポーツ施設の使用料の見直しと 有料化の検討	平成18年度	15,288	歳入増
補助金や負担金の 見直し	産業まつりなど各種イベントの見直し、農業・商工業 を統一、事務局体制見直し	平成18年度	4,800	縮減
	標茶町各種団体などの運営および事業補助金交付規則 の見直し	平成17～21年度	154,788	縮減
OA化の推進	庁舎内LANの施設およびパソコン導入の充実	平成15年度	16,734	縮減
	庁舎外施設とネットワークの構築	平成21年度	600	縮減
	GISの推進(手数料収入の増加) *(作業の効率化による人件費削減効果)	平成19年度	1,000 4,500	歳入増 縮減
<b>組織・機構の改革</b>				
行政財産の 有効活用	上虹別へき地保育所の譲渡 (平成15年度に休所し、平成23年度に譲渡予定)	平成15年度	16,100	縮減
	食材供給施設の管理委託の見直し	平成16年度	101,933	縮減
	町有地の売払い	平成17年度	20,656	歳入増
	修理不能車両、道路関係等金属資材の売却	平成20年度	2,129	歳入増
組織のスリム化	議員定数の削減(定数を18名から16名に削減)	平成19年度	18,696	縮減
<b>財務システムの構築</b>				
予算および決算の 分析	予算編成時の見直し基準の検討(常盤従業員住宅繰上償還)	平成15年度	51,385	縮減
	*(旅費の見直し)	平成16～21年度	22,299	縮減
合計			1,266,583	

行政改革の取り組みについてのご意見などは、役場総務課庶務係(2階⑩番窓口☎485-2111内線211)までお寄せください。役場ホームページ(32ページ参照)でも紹介していますのでご覧ください。

# 中山間地域等直接支払制度

## ～第3期活動の紹介～

平成12年度に始まった中山間地域等直接支払制度は、平成22年度から第3期がスタートしました。第3期活動においても農業者主導によるさまざまな活動が行われていますので、その概要と取り組みを紹介します。

### ■制度の概要

この制度は、農業の生産条件に不利な農地を耕作する農業者が参加する「集落」に、その面積に応じた交付金を国・道・町が交付し、農地と農業が持っている防災機能や豊かな農村景観などの多面的な機能を守っていくというものです。

第3期においては、第1期、第2期の計10年間の活動のほかに新たな活動を計画しており、さらなる将来像へ向けさまざまな共同取組を平成26年度まで取り組み、平成22年度には新たに集落協定を策定し、活動がスタートしました。

第3期もほかの補助事業と違い、参加者自らが考え協働

しながら、活動内容を決めて取り組んでいきます。

本町では町内20地域がまとまって1つの集落として町内全域の集落協定を締結しています。

この標茶集落には年に3億9千万円を超える交付金が交付され、そのうち1/2以上は参加者による共同取組活動に、残りを個人に支出しています。

集落協定や共同取組活動の内容は、各地域での話し合いの結果を各地域の代表者全員で協議し決定しています。

平成22年度に行われた共同取組活動内容について紹介します。

### ■効率的で安定的な農業の確立

農業の活力は地域の元気に直結するものであるとの考えから、効率的で安定的な農業の確立を目指し、次のような取り組みを実施しています。

土・草・家畜の資源リサイクルを目指し、家畜ふん尿の有効利用に係る経費の助成、パドック整備を進めています。

また、公共牧場を適正に維持管理すること

により、健康で優良な育成牛生産を目指すとともに、コントラクターの利用による効率的な営農システム確立に向けて取り組んでいます。

### ■担い手の確保・人材育成

地域振興・農業振興の基礎となる担い手農業者の確保のため、農業研修に対する支援を行い、人材の育成や地域農業の中核となる農業者の確保に向けて取り組んできました。

また、酪農ヘルパーの活用に対して支援することにより、営農意欲の増進につなげていくなど、後継者対策にも取り組んできました。

### ■景観整備による消費者交流

農村景観のグレードアップを目指し、道路沿いなど住民の目に触れることの多い場所にある畜舎の屋根塗装や景観の整備に取り組んだほか、農業用廃プラスチックの適正処理や地域の清掃、花壇の整備により環境の美化に取り組んできました。

また、農村公園の草刈りや清掃などの維持管理に対しても助成を行い、農村景観の整備増進や集落内外との住民との交流を促進するほか、横浜南高校文化祭に参加し、地場産農産物の消費拡大運動を実施

するとともに都市住民との交流を進めました。

### ■生活環境整備による地域づくり

地域の魅力づくりや営農意欲向上のため、地域の拠点施設である地域会館の整備や農場周辺の環境整備、廃屋の撤去について取り組み、継続的な生活環境の整備を進めてきました。

問い合わせ／役場農林課 農業企画係（2階）⑭番窓口  
☎ 485-2111 内線 242

## 平成22年度 集落協定の概要

- 集落名／標茶町標茶集落
- 協定参加者／農業者…351名、生産組織など…32組織
- 協定農用地面積／傾斜8度以上の草地 12,486,003㎡  
平らな草地 239,548,623㎡  
合計 252,034,626㎡
- 平成22年度交付金額／交付金総額 396,780,943円  
うち個人配分額 179,926,214円  
共同取組額 216,854,729円

### ●平成22年度共同取組活動費内訳

役員報酬・事務経費	10,402,217円
<b>土地立脚畜産</b>	
農用地等保全マップ活動	29,449,844円
<b>景観整備による消費者交流</b>	
畜舎の屋根塗装	3,268,000円
景観牧さくの整備	4,830,200円
地域の清掃活動	1,254,600円
地域花壇の設置	1,385,450円
廃プラスチックの適正処理	8,613,900円
農村公園の維持管理	10,476,750円
地場産農産物の消費拡大運動	527,088円
農道・水路の清掃活動	663,750円
<b>効率的で安定的な農業の確立</b>	
たい肥の適正利用	14,081,436円
パドックの整備	7,308,600円
公共牧野の維持管理	30,877,401円
コントラクターの利用	18,058,902円
<b>担い手確保・人材育成</b>	
農業研修支援	940,779円
慶弔時のヘルパー支援	1,420,709円
<b>生活環境整備による地域づくり</b>	
地域会館周辺の整備	1,269,112円
農場周辺舗装	31,404,168円
有害鳥獣駆除・家畜自衛防疫対策	479,700円
廃屋撤去	315,000円